

令和6年度 第1回生徒による授業評価 集計と分析等について 報告

質問項目

- 設問1：毎時間の授業や単元(内容のまとまり)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習した事を振り返りつる機会がある
- 設問2：単元(内容のまとまり)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある
- 設問3：単元(内容のまとまり)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある
- 設問4：授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
- 設問5：他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知らるなど、自らの考えを広げ深めることができた
- 設問6：授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
- 設問7：授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

評価4:かなり当てはまる 評価3:ほぼ当てはまる 評価2:あまり当てはまらない 評価1:ほとんど当てはまらない

	平均	① 結果の分析・課題の整理	② 改善の方針・今後の取り組み
国語 	3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.1 3.1 2.9	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>全学年を通して、すべての項目で評価3が全体の50%以上を占めており、授業の在り方、学習状況ともに概ね良好である。しかし、質問項目4、6において、他の質問項目に比べて評価2が少くない。このことから、授業でどのような力が身に付いたのか、また課題解決に向けてその力をどのように使えばよいかわからないと感じている生徒が多いと考えられる。また、質問項目1も全体的に評価2が多いため、授業は自らの目標の確認や、振り返りの時間が十分に取れていないと考えられる。授業者の意図が伝わらず、国語の学習に意欲を持っていない状態が続いている生徒がいることが今後の課題である。また、2学年はどの質問項目も評価1が6～9%あり、このような生徒にどう対応していくかも課題である。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>授業や単元の初めに「ねらい、目標」を示したり、学習後に振り返る時間を設けることを心掛ける。身に付けてほしい力や学んだことなどを授業で確認する機会を設ける。また、主体的に取り組む力・思考力・表現力を伸ばすための授業の工夫を継続して行う。受け身な姿勢でいる生徒に対して、個別の指導をしていくことが必要。またロイノートや視覚的教材等を活用し、意欲の低い生徒に対しても、興味関心を抱かせるような指導を目指す。</p>
地歴公民 	3.1 3.1 3.1 3.0 3.1 3.1 3.1 3.1	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>全学年ですべての項目で評価3・4が全体の80パーセントを占めており、授業の在り方、学習の状況ともに概ね良好である。特に質問項目6と7においてできていると考える生徒が他の項目と比較して多い傾向にあった。しかし質問項目1と4については他の項目より評価1・2が多かった。授業の中でできるようになる実感があり得られていない生徒が多いことが考えられる。単元の目標やねらいの設定を行い、授業の中で自ら課題に取り組む時間を積み重ねていき、単元の終了時に振り返りを行う機会を設けるなど生徒が「できた」と感じられるような授業を行っていることが課題として挙げられる。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>生徒が「できた」と感じられる授業を行うにあたって、単元の目標やねらいの設定と単元ごとの振り返りが必須である。また授業内でワークや問題演習、意見共有などの課題を積み重ねていくことで自ら学ぶ姿勢が身に付き、「できた」と感じられる機会が増えると考えられる。振り返りを行う際にはロイノート等を活用することで教材作成や配布の効率化を図ることができる。さらに振り返りを共有し、それを踏まえて新たな課題設定を行うなどして、より自主的に学びに向かう力を養うことができると考えられる。</p>
数学 	3.1 3.1 3.0 3.2 3.1 3.1 3.1 3.1	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>すべての項目について、「3. ほぼ当てはまる」「4. かなり当てはまる」の回答が8割を占めている。概ね授業内容について理解しており、授業中での取り組みにも積極的に取り組むことができている。しかし、質問項目5については「1. ほとんど当てはまらない」「2. あまり当てはまらない」と回答している生徒が最も多く、20%を占めている。このことから、授業中での一人ひとりの取り組みが良好であるが、様々な問題に対する解き方や考え方の理解を深めることに課題があると考えられる。そのため、応用問題や未知の問題に対して柔軟に考えることを苦手と感じる生徒が多いと思われる。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>復習や問題演習など、様々な場面で生徒一人ひとりの考えを発信する必要がある。言葉だけでなく、ロイノートを活用し生徒の解答をそのまま活用したり文章で計算過程を文字で表したりすることで、他者の考えを理解しやすくなると考えられる。1つの問題について複数の解答を比較することでさらに考えを深めることができると考えられるので、ロイノートの活用方法を教科内で共有し継続的に取り組むことができるようにする。</p>
理科 	3.0 2.9 2.9 3.0 2.9 2.9 2.9 3.0	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>すべての項目について「3. ほぼ当てはまる」と回答した生徒の割合が、50～60%程度と最も多く占めている。質問項目2と5については「1. ほとんど当てはまらない」と回答した生徒がやや多くなっている。これについては他者の考えを知ることにより、自分の考えをどのように広げたり、深めたり、まとめたりするのイメージがつきにくいことが考えられる。また、授業の中で自分の考えをまとめる時間が十分に取れていないことも考えられる。これについては基礎知識を習得するにあたって丁寧に時間をかけていることも影響している。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>様々な場面において、自分の考えを言葉にするだけでなく、文章に表現することが必要である。思考の過程を文字で書き表すことによって、視覚的にも整理しやすくなると考えられる。授業時間内だけでなく、ロイノートなどを活用して継続的に取り組めるようにする。</p>
保健体育 	3.2 3.2 3.2 3.1 3.2 3.2 3.1 3.2	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>全ての項目で3.1～3.2とおおむね良好であり、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒が多かった。特に、質問項目3、4で、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒が88%。さらに、質問項目6では89%に上ることから、授業の中で出てきた自己課題を解決し、その後の授業で自己のスキルの向上に結びつけることができていると考える。</p> <p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>しかし、設問2と5で「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」と評価した生徒が17%いたため、他者との意見交換する場を設定していくことも必要である。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>昨年度の結果と全く変わっていないので自己課題の解決能力の向上など心身の成長を促せるような指導を継続しつつICT等の活用や様々なスポーツに触れることのできる環境で生徒の興味関心を引き付けるような授業の展開を考える。</p>
芸術 	3.1 3.1 3.1 3.2 3.2 3.1 3.1 3.1	<p>① 結果の分析・課題の整理</p> <p>全項目とも、評価平均は3.1～3.4であり、おおむね良好であり、すべての項目において、「3以上の評価が80%を超えている。特に、質問項目4の評価は「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒は88%と高い水準であり、作品制作や演奏活動といった実技を主体とする教科の本質を捉えた有意義な学習活動につながっているようである。</p> <p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>また、きめ細かな学習目標の提示と振り返りを行うことで、生徒の自己理解、さらに学習の達成度を感じることができ、それが「できた」という実感へ繋がっていると分析できる。</p> <p>若干ではあるが、質問項目5の評価が他の項目より低い水準で評価されている。1学期は基礎的な学習も多い傾向にあることが原因と考えられるが、2学期以降に意識して取り組みたい課題項目である。</p>	<p>② 改善の方針・今後の取り組み</p> <p>今後も学習の取り組み状況の振り返りや目標提示をこれからもきめ細やかに行う。</p> <p>また客観的に自身の学習活動を振り返る時間を持たせ、考えを深められるように生徒間の発想や成果を発表する場を設けることにより、他者との比較や評価も得て、自己の確立を目指す。目の前の技術的なスキルだけでなく、自己実現、表現への段階的な解決能力の向上を目標とした。</p>

	平均	① 結果の分析・課題の整理	② 改善の方針・今後の取り組み	
英語	<p>英語</p> <p>設問7 2.0 (43.6%) 58.3% 26.8%</p> <p>設問6 2.0 (47.4%) 50.0% 21.0%</p> <p>設問5 2.0 (20.3%) 56.6% 20.8%</p> <p>設問4 2.0 (46.5%) 56.3% 26.8%</p> <p>設問3 2.0 (46.3%) 58.0% 22.6%</p> <p>設問2 2.0 (47.9%) 55.0% 23.9%</p> <p>設問1 2.0 (47.7%) 55.0% 24.4%</p>	<p>3.1</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.1</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p>	<p>全学年を通して、すべての項目で評価3と4が全体の80%を占めており、授業の在り方、学習状況ともに概ね良好である。しかし、質問項目2と5において、他の質問項目に比べて評価1と2が多い。このことから、他者の意見を参考にしたり、自分の考えを他者に広めるといったことができていないと感じている生徒が多いと考えられる。授業の中で、自分の考えをまとめたり、他者に発表したりする時間を十分に取れていないことが想定できるため、音読などでペアワークをするだけでなく、本文を読んだうえで生徒自身の意見を共有する時間を確保することが、課題として挙げられる。</p>	<p>授業の中で意見を交換する時間をとるのが難しい場合は、ロイノートなどを使い、意見を提出させて全体で共有したり、一つの意見を取り上げてその意見についてそれぞれで考えさせたりすることで、時間を短縮しながら意見交換ができる。また、集めた意見を全体に共有していつでも見られるようにしておくことで、生徒が自発的にロイノートを確認し、他者の意見を取り入れることができる。</p>
家庭	<p>家庭科</p> <p>設問7 1.0 (27.6%) 59.1% 29.6%</p> <p>設問6 0.0 (0.0%) 58.3% 30.0%</p> <p>設問5 0.0 (0.0%) 58.3% 30.1%</p> <p>設問4 1.0 (24.9%) 59.1% 29.3%</p> <p>設問3 0.0 (0.0%) 58.3% 29.4%</p> <p>設問1 2.0 (48.0%) 59.1% 28.1%</p>	<p>3.2</p> <p>3.2</p> <p>3.1</p> <p>3.2</p> <p>3.1</p> <p>3.2</p> <p>3.1</p>	<p>各項目の評価平均は3.1～3.2で、おおむね良好であり、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒が多かった。どの項目も大きな差はなく、評価がよいが、他者の考えを聞き、自らの考えを広げて深める部分については、他の項目よりもやや評価が低いので、グループワークやペアワークの機会を増やしていきたい。また、学習目標と振り返りの時間を確保していきたい。</p>	<p>グループワークやペアワークなど生徒同士がかわりあえる授業を実施することで、他者の考えを聞き、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしたい。また、前時の振り返りや理解度などをこまめに確認し、つまずきを防いでいきたい。また、ICTも活用していきたい、生徒のイメージを引き出す工夫を行っていく。</p>
情報	<p>情報</p> <p>設問7 1.0 (29.0%) 57.4% 28.7%</p> <p>設問6 1.0 (34.0%) 50.0% 24.0%</p> <p>設問5 1.0 (21.4%) 57.6% 20.1%</p> <p>設問4 0.0 (0.0%) 52.5% 25.6%</p> <p>設問3 1.0 (26.0%) 58.0% 29.0%</p> <p>設問1 1.0 (25.6%) 57.1% 29.6%</p>	<p>3.1</p> <p>3.1</p> <p>2.9</p> <p>3.2</p> <p>3.1</p> <p>2.9</p> <p>3.0</p>	<p>各項目の評価平均は2.9～3.2で、おおむね良好であり、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒が多かった。特に、質問項目4で、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」の評価をした生徒が85%であることから、授業でのPC操作において、多くの生徒がスムーズに実習に取り組めた様子がうかがえた。ただし、質問項目は全体で一番低い評価点であったことから、今後は課題解決に向けて協力し合う協働的な学習活動を行うよう工夫をしていきたい。</p>	<p>特に実習において、(グループワークでなくても)自分の作品の完成だけでなく、互いに助け合い協力する態度を持たせるよう授業を展開していきたい。可能な実習ではプレゼンテーション等を行って自己表現し、自らの考えを発信し、また他者の考えを知る機会を創出したい。座学部分では、計算等において、協力して問題を解決していく教材を作成したい。また、各単元での振り返りでは学習の感想を書いて終わりではなく、次回への課題を考えることが出来る質問も加えていきたい。</p>
総合的な探究の時間	<p>総合</p> <p>設問7 2.0 (43.6%) 57.0% 26.3%</p> <p>設問6 2.0 (44.4%) 57.3% 26.7%</p> <p>設問5 3.0 (22.3%) 57.3% 20.0%</p> <p>設問4 1.0 (23.9%) 57.3% 22.1%</p> <p>設問3 2.0 (44.0%) 57.1% 26.6%</p> <p>設問1 2.0 (46.1%) 56.8% 24.3%</p>	<p>3.0</p> <p>3.1</p> <p>3.1</p> <p>3.0</p> <p>3.1</p> <p>3.1</p> <p>3.0</p>	<p>全ての小項目については評価平均が3.0以上となっており、探究という科目のねらいについてある程度、達成できていると考えることができる。</p>	<p>実施前に、担当する教員の共通理解を得て取り組みを行う。その際、毎回の授業のめあてや目的を説明し、何のために探究学習をするのか明確にする。答えを与えられていない課題の解決策を模索し発表するという方向性を意識し、具体的な指示と課題の提示を行うよう工夫する。</p>
進路実践(自己と社会)	<p>自己と社会</p> <p>設問7 2.0 (43.8%) 62.6% 21.4%</p> <p>設問6 1.0 (23.5%) 62.8% 22.3%</p> <p>設問5 0.0 (0.0%) 59.0% 20.5%</p> <p>設問4 0.0 (0.0%) 62.3% 25.2%</p> <p>設問3 1.0 (22.8%) 61.3% 25.1%</p> <p>設問1 3.0 (46.3%) 57.6% 24.2%</p>	<p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.0</p> <p>3.1</p> <p>3.0</p>	<p>評価平均は授業の在り方について、学習状況についてともに「3.0」となった。「2」の割合が多かった項目1、3から授業の目的や学んだことを確認する時間が少ないと感じている生徒が多く見える。また、授業での課題について考える時間も少なく感じている。</p>	<p>授業の目的は配布プリントの最初に書かれていて口頭でも説明をしているが生徒は意識できていないようなので導入の時間を増やし、目的意識を持って授業に取り組めるようにする。授業の最後には振り返りの時間で教員が確認するだけでなく生徒が自分の言葉で確認できる時間を作る。課題を考える時間は多いため自分で考えて考えをまとめる力が低い可能性があるため、個別に対応し、課題の進行がスムーズになるように支援を行う</p>